

《暴風雪～交通障害に注意》

◇視界不良時には、安全なところに退避し、運行停止◇

- 猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害が起きる可能性があります
- ホワイトアウトになると数メートル先の車両すら見えなくなります
- 雪の影響で、道幅が狭くなるので、スピードを落とし、慎重な運転を心がけましょう
- 道路上には、歩行者や除雪をしている人がいるかもしれません。見落とし厳禁
- 特に、視界不良時や夜間は十分な注意を払いましょう

「スピードは控えめに、車間距離は長めに」

《黄色信号》

- 黄色信号では、止まる
- 前の車は止まるかもしれない（追突を避ける）
- 車間距離を十分に空けておく

《挟まれ・墜落・転落 注意》

労災事故防止

ゆるやかなカーブ

「トラックから牛が落ちた」と110番

大型トラックに積んだ乳牛18頭のうち1頭が荷台から落ちた
高速隊と高速道路関係者が、運転手と協力して積み直した
一時通行止めも

◇カーブの手前は…十分にスピードダウン◇

◇カーブの手前、スピードを落とさないと、積荷の落下事故の危険があります◇

2023/1/21(土) 11:20

20日午後2時半頃、岐阜県の中央自動車道で、「トラックから牛が落ちた」と牛を輸送していた大型トラックの男性運転手から110番があった。輸送中の乳牛18頭のうち1頭が、大型トラックが走行中に荷台から落ちたとみられ、高速隊と中日本高速道路の関係者が現場に駆けつけ、運転手と協力して積み直した。けが人はいなかった。現場は片側2車線の緩やかなカーブ。この事故の影響で、一部が一時通行止めになった。

単独事故車に大型トラックが追突

乗用車の車内にいた男性死亡

◇前方で…何が起こるかわかりません 「わき見」は厳禁◇

◇車間距離を十分にとりましょう 前の車が対向車と衝突したときの跳ね返りもあります◇

2023/1/17(火) 11:45

17日午前4時ごろ、大阪府の名神高速で、中央分離帯に接触して停車中の乗用車に大型トラックが追突し、乗用車を運転していた男性(46)が間もなく死亡した。警察は大型トラックの運転手の男性容疑者(26)を現行犯逮捕した。「前方不注意だった」と容疑を認めているという。乗用車が走行中に別の大型トラックに追突した弾みで中央分離帯に接触し、停車して車内にいたところ追突されたという。大型トラックは、千葉県内から大阪府吹田市に積み荷の野菜を運送中だったという。

夜6時 国道で対向車線にはみ出し

乗用車同士が正面衝突

69歳男性死亡、2人けが

◇気のゆるみ 事故は一瞬 命はひとつ◇

◇「ぼーっと運転」、漫然運転は死亡事故リスクが高い！◇

◇ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇

2023/1/21(土) 10:28

20日午後6時ごろ、岩手県の国道で、69歳の男性が運転する乗用車が対向車線を走行中の乗用車と正面衝突しました。この事故で、69歳の男性は病院に運ばれましたが、胸を強く打つなどして約3時間後に死亡しました。また、死亡した男性の助手席に乗っていた55歳の妻と、対向車を運転していた男性(41)も骨折などのけがで病院に運ばれました。現場は見通しの良い片側1車線の直線で、警察は死亡した男性の車が反対車線にはみ出したとみて、事故の原因を調べています。